

善通寺・曼陀羅両寺領絵図



中世の絵図であるく 善通寺地域の歴史過程



ワークショップ当日は
歩きやすい服装で
お越しください。

2019年10月6日(日) 14:00 - 15:30 (受付は13:30より)

会場：総本山善通寺 遍照閣、善通寺周辺 / 定員：120名 / ※雨天の場合は講義のみの開催となります

参加費無料

ワークショップご参加登録はこちらから → <http://www.zentsuji-tekutoku.jp>

“中世の絵図であるく善通寺地域の歴史過程”

現在善通寺には、鎌倉時代頃に善通寺周辺地域を描いた絵図が所蔵されている。国の重要文化財に指定されているこの絵図には、この地域の成り立ちと、その後の歴史過程を明らかにする様々な情報が盛り込まれている。本ワークショップでは、この絵図を片手に、鎌倉時代と現在の景観を比較しながらフィールドワークを行い、善通寺周辺地域の歴史過程を体感する。当日は、歩きやすい服装と履き物で参加されることをお勧めしたい。

講師について



香川大学
准教授

守田 逸人
Hayato Morita

1971年生まれ。国立大学法人香川大学教育学部准教授。専門は日本中世史。主要なテーマは土地制度史研究・在地領主研究・景観復元研究。文化財（古文書）の保存と流出に関する研究も進めている。主要著書に『日本中世社会成立史論』（校倉書房）、主要論文に「「讃岐国善通寺領絵図」調査ノート」（『よみがえる荘園』勉誠出版、2019年）などがある。

善通寺てくてく文化遺産プロジェクトとは

真言宗の開祖・弘法大師空海御誕生の地である香川県善通寺市は、市名の由来となった総本山善通寺をはじめ、四国八十八ヶ所霊場第72番から76番までの五つの札所寺院を擁する巡礼の都です。五岳山の連なる肥沃な地に、清らかな湧水を湛えるここ善通寺市は、かつての門前町としての風情を今に伝え、また古くは有岡古墳群などの遺跡を、そして近代では旧陸軍第11師団の建造物や善通寺駅舎等の産業遺産を残します。街をてくてく歩く、それだけで私たちは多彩な価値・時代性を持ったいくつもの文化遺産と出会う事ができます。歴史の歩みから学び、その歩みを止める事なく前進し、文化遺産を次の世代へ伝承していくこと。てくてく文化遺産はこれからの歩みを「てくてく」明るく踏み出すためのプロジェクトです。

会場について

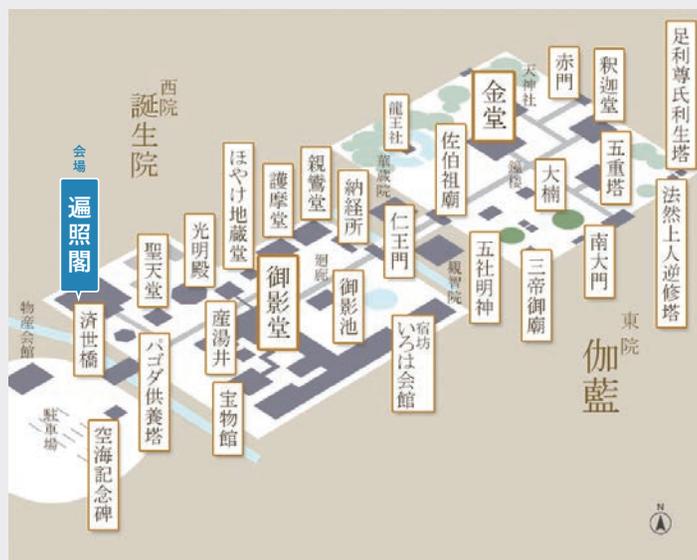
総本山善通寺 遍照閣

〒765-8506 香川県善通寺市善通寺町3-3-1
Tel: 0877-62-0111(代) Fax: 0877-62-4302
<https://www.zentsuji.com>

公共交通機関でお越しの方○岡山方面より JR 岡山駅から瀬戸大橋線を経由し JR 善通寺駅までお越しく下さい（約60分）○高松方面より JR 高松駅から予讃線・土讃線で JR 善通寺駅までお越しく下さい（約60分）○JR 善通寺駅より徒歩約20分/タクシー約3分/市民バス（無料）を利用して約8分
※バス停「郷土館前」下車し徒歩3分

お車でお越しの方○岡山方面より 瀬戸中央自動車道 坂出インターより約20分 ○徳島・愛媛方面より 四国横断自動車道 善通寺インターより約10分
※駐車場は総本山善通寺の境内の西側に入ります

飛行機でお越しの方○高松空港より車で約50分※高松から JR 利用の場合は高松空港～JR 高松駅間はバス・タクシー利用で30～40分かかります



次回のワークショップについて

日程

2019年11月17日(日)

14:00~15:30

テーマ

勤王僧月照と善通寺

講師

明石 安哲

コラムニスト(四国新聞社シニア編集室)